

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 8 日

事業名称		新型コロナウイルス感染症対策事業費 [児童館事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 6	児童館費	事業番号	7			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	青少年課 課 青少年育成係 係					課長名	石川 博隆				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	児童館を利用する、利用者及び職員(児童館)				児童館数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	児童館を開館し、利用者及び職員が新型コロナウイルスに感染させない。				集団発生(クラスター)数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	補助金を活用し、感染防止に必要な消耗品や備品の購入し活用した。児童館活動での新たな生活様式取り入れながら環境整備を図った。				① 空気清浄機(ウイルス除去)、非接触型体温計、次亜塩素酸、アルコール、ペーパータオル、パーテーション、マット等の購入(購入金額) ② 室内消毒の徹底、手洗いの励行、手指消毒の実施、健康管理(機会数) ③ マットの利用、パーテーションを設置し濃厚接触の機会を減少させた。(機会数) ④ 常に空気清浄機を稼働し、適宜換気を実施した。(回数)						
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	4,406,481	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円			24,481					
		特定財源(国・都・他)	円			4,382,000					
		(うち受益者負担)	円			0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円			838,000					
事業費+人件費		円	0	0	5,244,481						
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和2 年度								
	(2) 環境の変化		令和2年4月に国からの新型コロナウイルス感染症による、緊急事態宣言が発令された。その後6月に東京都が、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を新設した。この事業を活用し児童館の利用者と職員の健康安全を確保するため、必要な物品を購入、利用、活用し新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図った。								

事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業費 [児童館事業]			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成係	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
なし				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	なし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	なし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
なし				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 現時点において必要と思われる備品の調達はできたが、日常的に使用する消耗品については、継続し調達、使用する必要がある。 拡大としたのは、今まで一般財源では想定していないことに対して、予算措置をする必要があり、令和2年度予算と比較し予算規模を拡大する必要があるため。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	今年度は、特定財源の確保により市負担分がなかったが、消耗品は購入し続ける必要があるため、予算措置する必要がある。			